

CGY750 アップデート機能説明 (バージョン 2.0 ~)

このアップデートにより、以下の説明書のように機能が変更されます。こちらの説明書をご参照ください。

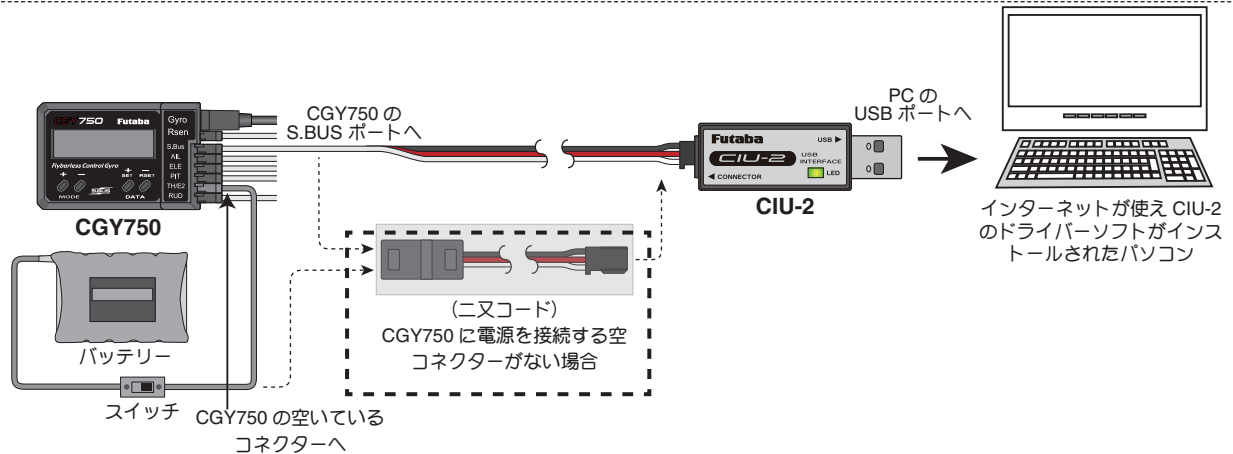
バージョン 2.00 以前の CGY750 をお持ちの場合、Futaba の WEB サイトより次の方法でアップデートすることができます。

■ CGY750 ソフトウェアアップデート方法

● 必要なもの

- ① Ver2.00 以前の CGY750 ② インターネットが使用できるパソコン ③ 受信機用バッテリー (3.7 ~ 7.4V)
④ スイッチ ⑤ CIU-2 (⑥ ニ又コード)

● 接続方法



下記の方法で、CGY750 ソフトウェアをアップデートしてください。ただし、予め CIU-2 ドライバソフトのダウンロードおよびインストールを行い、CIU-2 が PC 上で動作できる状態としてください。

[接続方法]

1. 上図のように、CIU-2 本体を、PC の USB ポートに接続します。
2. 受信機と接続している、S.BUS ケーブルを外し、CIU-2 の他端コネクタを、CGY750 の S.BUS 入力端子に接続します。
3. CGY750 の空きサーボ端子に電源を接続します。
※ 空きサーボ端子が無い場合は、図に示すように、2 又コードを使用して、S.BUS 入力端子から電源を供給します。または、サーボコネクタを 1 個外し、空いたコネクタに電源を供給します。
※ 回転センサーコネクタからの電源供給はできません。
※ バッテリーと電源コネクタの間に on/off スイッチを配置します。

[アップデート手順]

1. アップデートソフトを web. 上からダウンロードします。ダウンロードしたファイルは zip. 形式の圧縮ファイルですので、Windows のアプリを使用して解凍します。解凍されたファイルは、GY750.bin と Update.exe の 2 個のファイルとなります。
2. CGY750 の MODE+ キーを押したまま、CGY750 に電源を供給します。CGY750 の画面に「UPDATE READY」の表示がされます。
3. PC 上の Update.exe ファイルをダブルクリックして起動します。アップデートを実行するかの確認ボックス表示が現れますので、「はい」ボタンを押します。アップデートが開始されます。
4. PC 画面上に、実行の状態がバーグラフ表示されます。また CGY750 の画面表示が、「NOW WRITING...」と表示されます。
5. プログラム書込みには、約 3 分掛かります。書込みが終了すると、PC から書込み終了メッセージが表示されます。また、CGY750 の表示は、「SUCCESS」が表示されます。
6. CGY750 の電源を OFF します。再度 ON します。CGY750 の起動後に、「InitData」画面が表示され、追加データの作成を行います。この表示が出ている間は電源を絶対に切らないでください。データの追加作成が出来なくなります。この表示は、アップデート後、最初の電源投入時のみ発生します。初期化が終了すると、画面表示の 2 行目に、「Ver:2.00」が表示されます。これでアップデートは正常に終了です。Ver.1.40 からのアップデートの場合、StupStyl 設定が F3C, CondMenu OFF で、アップデート前のデータが継承されます。Ver.1.40 以前のバージョンからのアップデートの場合、全てのデータが初期化されます。
* データの初期化に失敗したと思われる場合は、リセットメニューを呼び出し、全てのセクションのリセットを行ってください。この場合、すべてのデータは初期化されます。
* 飛行前に、ジャイロの動作方向を必ず確認してください。ジャイロ動作方向が逆に設定されて飛行すると、ヘリは操作不能になり非常に危険な状態になります。
* StupStyl 設定メニューで F3C から 3D に変更しますと、SWASH 設定データの一部とガバナー機能の設定を除き、設定データが初期化されます。